

食道の構造

- ◆食べ物は摂取されると消化管を通り、消化・吸収され排泄されます。
- ◆食道は、口腔・咽頭から胃へとつながる約30cm程度の臓器です。

食道疾患の症状

- ◆胸がムカムカがする
- ◆みぞおちが痛む
- ◆苦い液が口に上がってくる
- ◆物が飲み込みづらい
- ◆吐いたものに血が混ざる

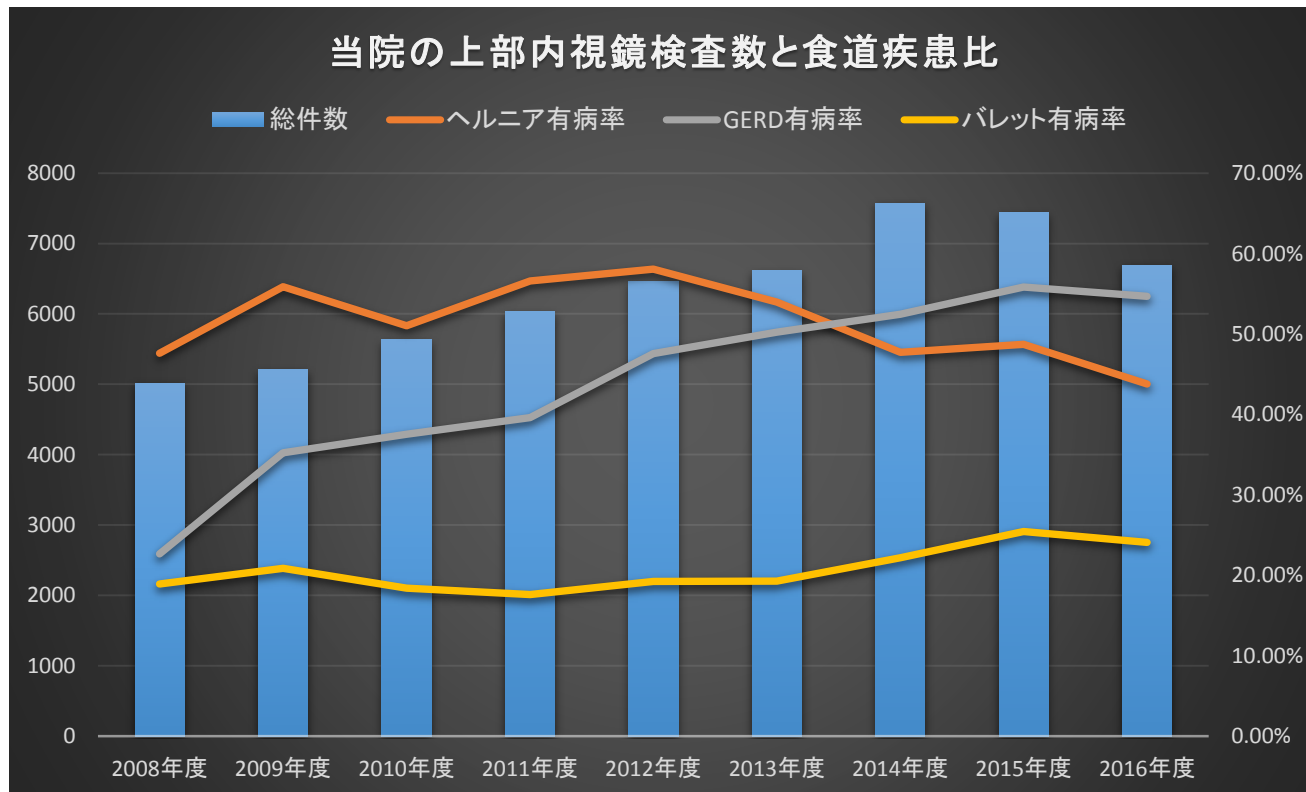
食道疾患

食道疾患には以下のようなものがあります。

- 食道裂孔ヘルニア
- 逆流性食道炎
- バレット食道
- 食道癌
- 食道静脈瘤
- 食道狭窄
- 誤飲・食道胃物

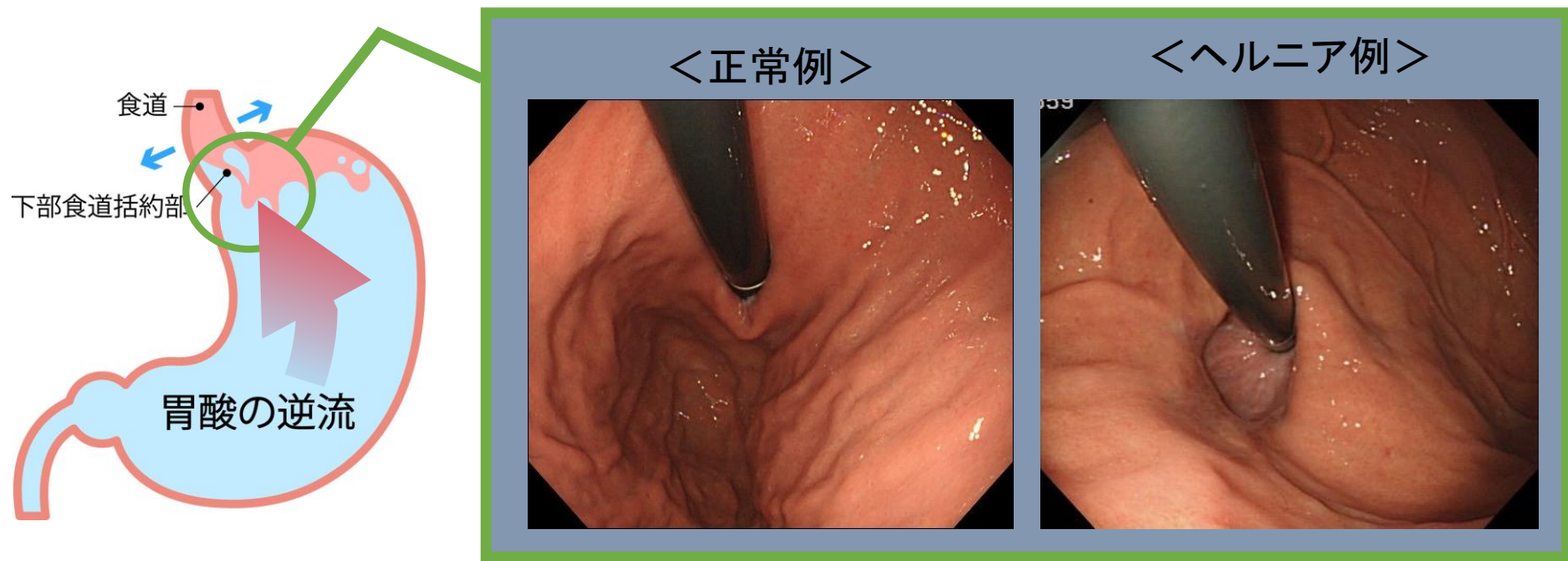
食道疾患の有病率

| 日本消化器内視鏡学会雑誌 Vol:47(4),Apr.2005 | | |
|---------------------------------|------------|-------|
| 食道裂孔ヘルニア | 1258/2552例 | 49.3% |
| 逆流性食道炎 | 835/2577例 | 32.4% |
| バレット食道 | 536/2577例 | 20.8% |



食道裂孔ヘルニア

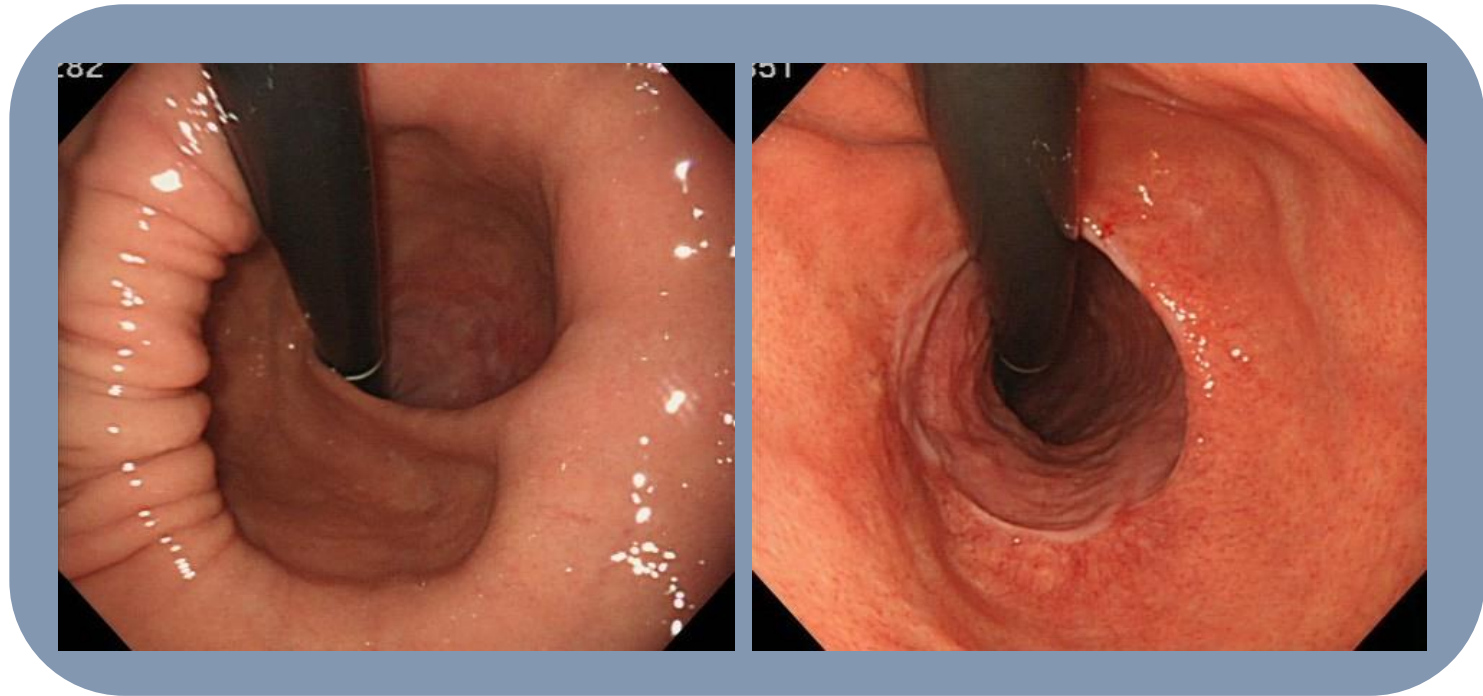
◆食道と胃の間には食道括約筋があり、通常胃酸や食べ物が逆流しないよう締まっています。



食道裂孔ヘルニアとは、食道と胃の移行部にある筋肉が緩くなる病気です。

食道裂孔ヘルニア

◆加齢などにより食道括約筋が緩くなり、胃が胸腔内に突出した状態を食道裂孔ヘルニアと呼びます。

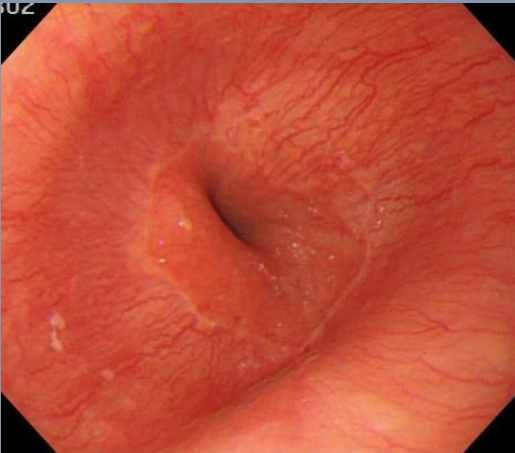


◆食道裂孔ヘルニアは逆流性食道炎を起こす原因の1つと考えられています。

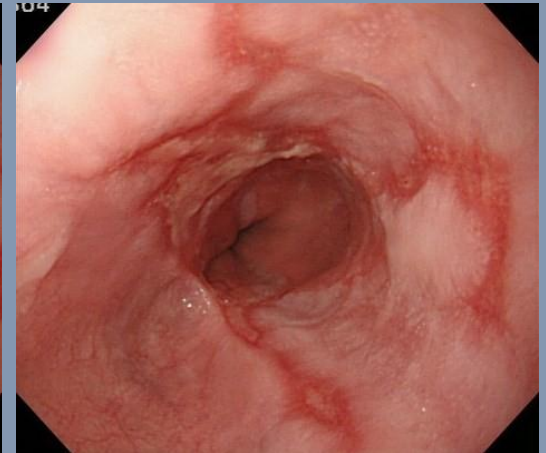
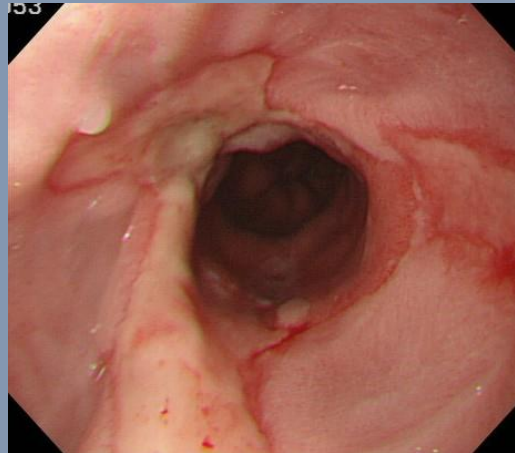
逆流性食道炎

- ◆ 胃酸を含む消化内容物が食道へ逆流する状態を胃食道逆流症と言います。
- ◆ それによって、食道の粘膜が炎症を起こした状態を逆流性食道炎と言います。

正常



逆流性食道炎



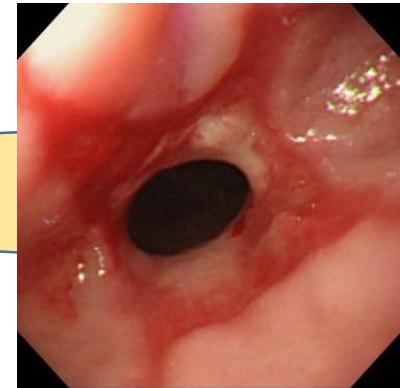
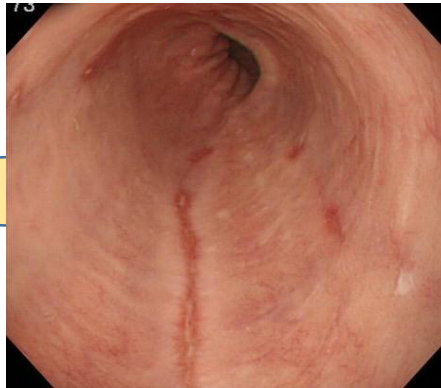
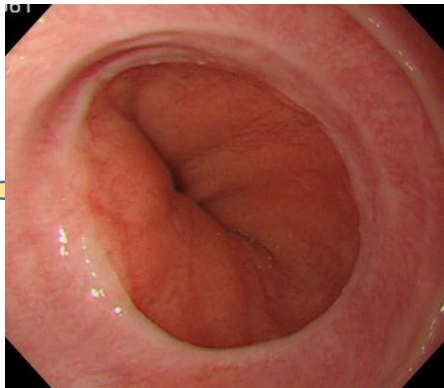
- ◆ 加齢、過食、食道裂孔ヘルニア、肥満、妊娠、胃切除術後、ピロリ菌除菌、糖尿病、激しい運動等による食道括約筋機能不全・胃酸分泌過多・食道運動蠕動障害が原因となります。

逆流性食道炎

逆流性食道炎は、上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)で評価します。

| グレードN | グレードM | グレードA | グレードB | グレードC | グレードD |
|----------------|-----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|---------------------|
| 内視鏡的に変化を認めないもの | 色調変化型 粘膜傷害は認めず 色調変化のみを認めるもの | 粘膜傷害の長径が5mmを超えず、 粘膜壁に限局するもの | 少なくとも1カ所の粘膜傷害の長径が5mm以上で他の粘膜傷害と連続しないもの | 全周の75%未満に連続した粘膜傷害を認めるもの | 全周の75%以上の粘膜傷害を認めるもの |

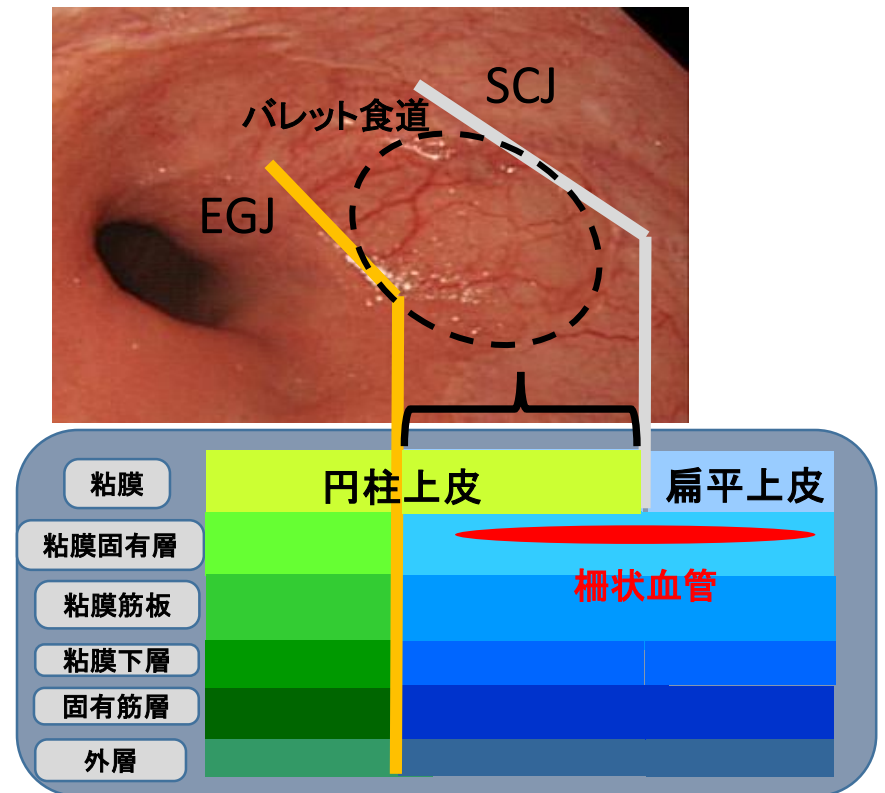
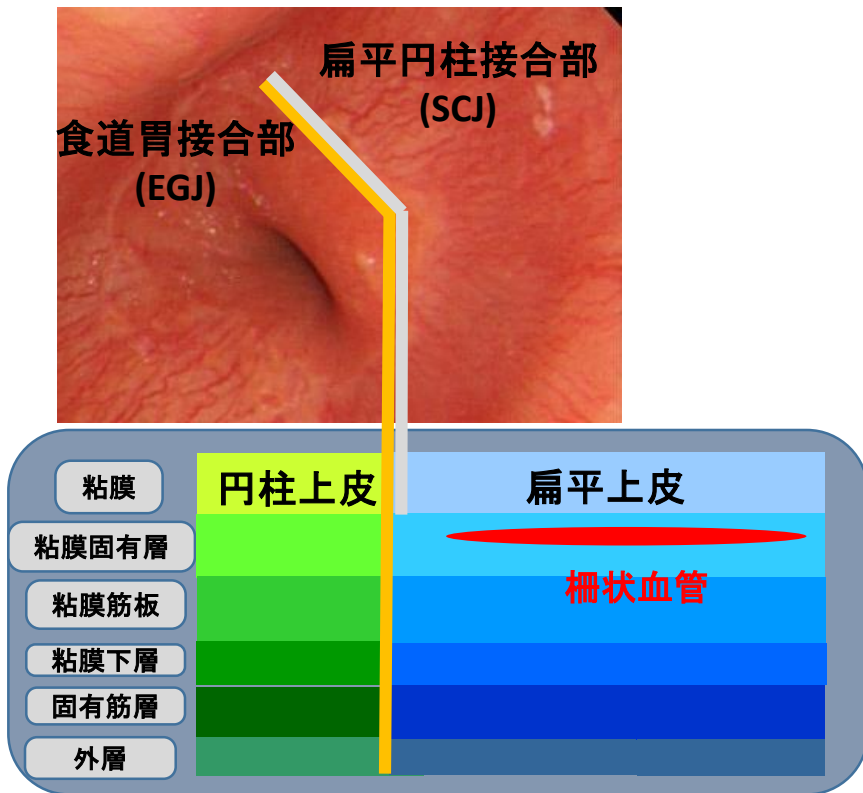
軽症



重症

逆流性食道炎は、外来での制酸薬加療が可能です。

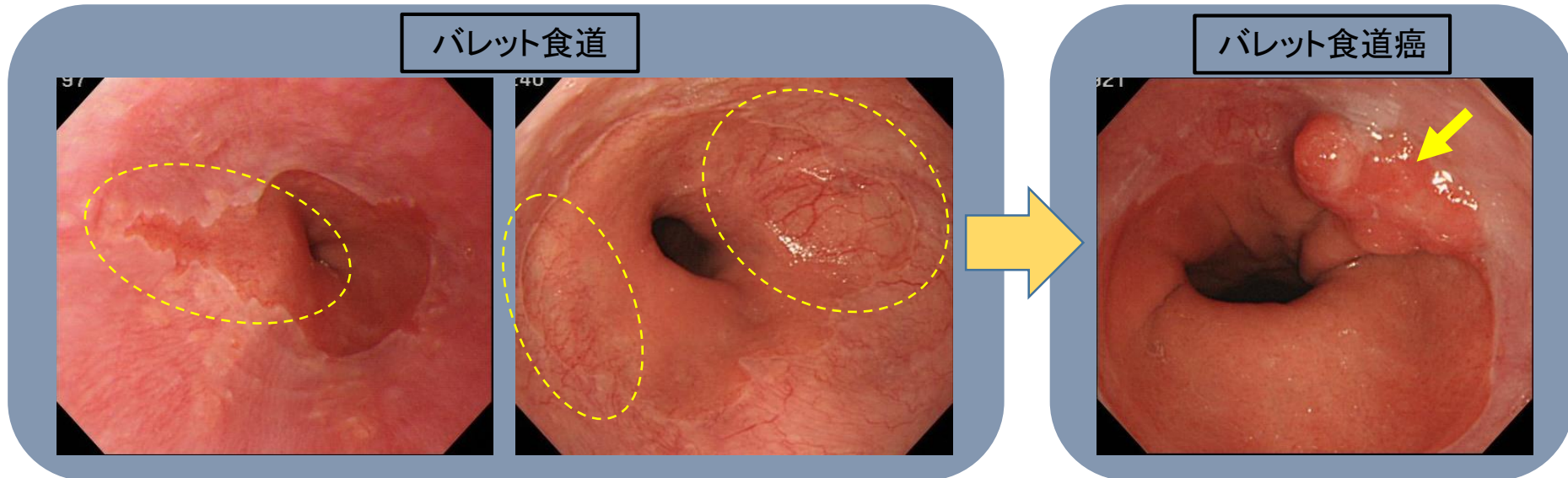
バレット食道



バレット食道は逆流性食道炎などによる慢性的な炎症のため、食道粘膜(扁平上皮)が胃粘膜(円柱上皮)に変化したものです。

バレット食道

バレット食道は徐々に増加しており、内視鏡検査で約20%に発見される疾患です。
バレット腺癌および食道胃接合部癌の原因となり得ます。



◆ 浅い病変のバレット食道癌は、他の食道癌同様内視鏡による治療が可能です。